

給食だより



野のはな保育園

2月といえば『節分』です。節分とは、字からも分かるように「季節を分ける」という意味であり、季節が変わる日のことを指します。季節が変わる日とは、季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日の日のことを言います。節分は昔、一年の一番始まりの日でした。一年の始まりに「病気をしないに」「悪いことが起らないように」というお願いをして豆をまいたそうです。それが今も続いているんですね。そして豆まきをする理由は、「魔の目（まめ）」に豆を投げつけて「魔（ま）を滅（めっ）する」という語呂合わせが由来なのだからか。保育園ではおにの顔をしたカレーライス・大豆を使った副菜を提供します。近年では豆まきや恵方巻を食べる習慣もあるのでぜひご家庭でも楽しんでみて下さい。また、幼児の今月の調理保育ではみそ作りを行います。柔らかく煮た大豆をつぶし、大きなお団子にしたものをみそ樽に並べていきます。力仕事な部分もありますが、子ども達のパワーを借りてみんなで美味しいおみそを作りたいと思っています。出来上がったおみそは給食のみそ汁に入れたり、おやつなどの献立に使用する予定です。



節分集会の日は幼児は歳の数
に一つ足した数の炒り豆を食べ
る予定です。



【給食時間の子どもようす】

子ども達の食事時間に合わせて様子を見に行くと、みんないい笑顔で給食を食べています。「この中に入ってる野菜はなに?」「にんじん食べれるよ」と教えてくれる子・お皿に上手に手を添えて食べる子・友達とおしゃべりしながら楽しく食べる子など様々です。最近はおかわりをする子どもも増えてきました。給食室としては嬉しい限りです。2週間サイクルで献立を作成しているため、スタッフ同士話し合い、食材の切り方や味付けは変えることもあります。何か気になることがありましたらお声がけいただければと思います。



